



NPO法人 府中かんきょう市民の会  
 2021年新年号 1月13日(水)発行 通巻79号  
 発行人 小西 信生 (府中市四谷6-19-20)  
 TEL 042-405-8524  
 編集人 葛西 利武  
 (府中市市民活動センタープラッツ登録団体)

## Zoom You Tube利用 第6回「府中市民協働まつり」オンライン開催

当会としては旧グリーンプラザで開催されていたNPOボランティアまつりから通算して、18回連続の出演となります。同時に実行委員会または企画委員会にも継続して委員を派遣しています。

2020年は新型コロナウイルス感染症対応のため、協働まつりはオンラインを中心に開催しました。当会が参加していた環境まつりなど、市内でリアル開催してきたその他のイベントは軒並み中止になり、協働まつりとしても初めてのことでしたが、オンラインでの開催ができたことはそれなりにすばらしいことだと言えるでしょう。

オンラインでの開催期間は11月1日(日)～11月29日(日)ま

でのほぼ1カ月間でした。オンラインはZoom(オンラインミーティングソフト)や、You Tube(動画共有サイト)を利用し、提供コンテンツは各参加団体が作成しました。

### オンライン開催はおおむね成功

全体としての参加団体数は110、オンラインアクセス件数27,000、28、29日のオンライン謎解きの景品交換や、オフライン謎解き(オンラインでのイベント参加者)の市民活動センターへの来場者数は234人でした。2019年度は参加団体数128、来場者数20,000人程度だったことを考えると、概ね成功だったと言えるでしょう。

(企画委員メンバー 小西信生)

### オンラインで参加した3項目

『協働』とオンラインのイメージが結びつかないなか、まずは、企画委員会が主催した「参加検討団体向け説明会」(8月5日)にオンラインで参加しました。当会がオンラインで参加した3つの内容について紹介します。



- ①11月1日から視聴できる『団体紹介 You Tube』
- ②26日は日替わりで映像等のヒントを出しながら答えてもらう『今日の三択クイズ』質問内容は市内に湧水は何か所あるでしょう!(答えは右下)



生配信『ライトニングトーク』中  
 ⑤右端と⑥浅田多津子

- ③28日の5分間生配信『ライトニングトーク』では、20枚のパワーポイントを使って、4年目になる小学校の環境学習の様子や学習内容をナレーション入りで紹介しました。

### 当会初めての試み 計7回の「動画編集会議」を経て 12分間の動画をYou Tubeにアップ

9月4日第1回動画編集会議スタート。まずは、21年間の活動をどのように表現するかシナリオ作成、1週間後、「ビデオエディター」「ボイスレコーダー」ソフトを使ったプラッツ主催の学習会に参加し、動画作成の一步を踏み出しました。

内容は、当会設立から10年、20年の記念誌を参考に、20周年記念式典開催までの歩みを紹介。さらに8つの活動内容の紹介、「田んぼの学校」「西府崖線保全活動」「環境学習」「援農ボランティアと農園塾」「公園清掃と市民花壇づくり」「大気汚染等調査活動」「バス見学会」「ロゴマークの紹介」と、メンバー募集の案内で終了です。

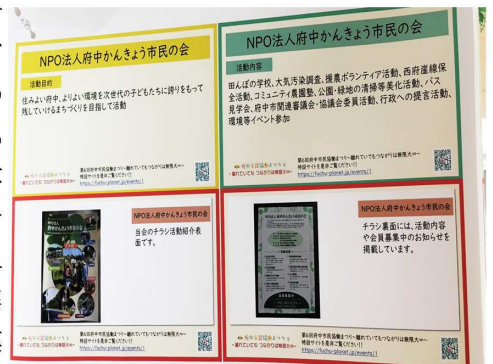
各チームリーダーから映像をかき集め、モザイクを施すなどの工夫を重ね、見せたい映像を中心にシナリオが決まり、ナレーション作りと共にキャプション付けも進みました。撮り貯めた活動映像があることで、イメージどおり12分間の動画を仕上げる事ができたように思います。(10月23日YouTubeにアップ)

現在は、当会のHp(下記)から見る事ができます。ご覧いただき、一緒に活動できるメンバーを増やす一助になることを切望します。

<https://youtu.be/P6PByfWx0LU>

### 他団体を知る機会が増えた

コロナ禍でのオンライン開催がどのように『協働』の発展につながれたか、他団体を知る有効なチャンネルが増えたことについて前進できたことは間違いないでしょう。



4通りの『ポスターセッション』今後の発展を期待します。

(当会実行委員会リーダー 浅田多津子)

### ☆答え:湧水は市内に3か所

## ウイルスや細菌を不活化させるテクノロジー

# 新型コロナウイルスに立ち向かう技術

新型コロナウイルスの12月1日の国内新規感染者は、夜の時点で2,000人余が確認され、累計総数は15万人を超えた。感染者総数は第3波の感染拡大ペースが急速になっている。

今後の展開次第では医療崩壊並びに経済停滞を招きかねない状態にある。

このような状況下、感染症を予防するワクチンや治療薬の開発への一日も早い期待が高まっている。米英ではファイザーのワクチンの異例のスピード承認、12月内に接種の開始との報道されている。

### ワクチンだけではコロナ消滅せず

しかしながら、ニューフリースト・アセット・マネジメントのデ

ービッド・アルブリクト氏は「ワクチンによって21年半ばに世界が正常に戻ると考えるのは過信」と警鐘を鳴らす。

このような状況下で、我々はマスクや三密の他に日常の感染リスクへの対策(殺菌・消毒)をとる必要である事をあらわしている。

### 感染リスクを下げる技術三点

「人がいる『場所』のウイルスや細菌を不活化(感染力や毒性の消失)させるテクノロジーが登場している」①265nm紫外線C②222nm紫外線C③TiO<sub>2</sub>を使った光触媒による不活性化技術に期待が集まっている。

この水や物や空気等を清浄な状態に保ち、新型コロナウイルスの感染リスクを下げる技術を以下に三点紹介する。

※参考文献/日経BP『新型コロナに立ち向かう100の技術』

## 1) 紫外線C技術 / i 山口大学、スタンレー電気(東京都目黒区)

### <新型コロナウイルスに対する有効性>

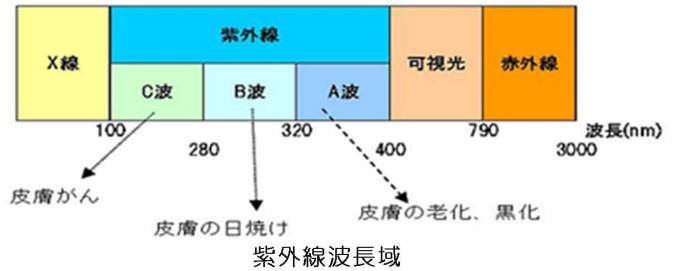
細菌やウイルスは、遺伝情報を持つDNA・RNAによる細胞分裂・増殖する事で感染・発症へと至る。このDNA・RNAに波長 265nmの紫外線を照射すると、DNA・RNAの螺旋構造を変化させることで不活性化することができる。不活化率99.9%以上を確認。紫外線殺菌に対する耐性菌を生まない。

### <製造開始>

‘20/7から鶴岡市の工場で、「紫外線C」を発生する発光ダイオード(LED)の量産を始めた。(図参照)

### <用途>

身の回り品を殺菌する機器や、空調機器への内蔵(体育館・レストラン・スーパー・コンビニ・学校・会議室・病院等)での需要を見込む。



### ii Columbia大学 ('20/4/21)

### <新型コロナウイルスに対する有効性>

人体に照射しても影響が殆どないと波長222nmUVを人の活動空間に数分照射することで、新型コロナウイルスの感染拡大を抑制(感染力毒性の消失)できる可能性がある」と発表。

### <光源の開発>

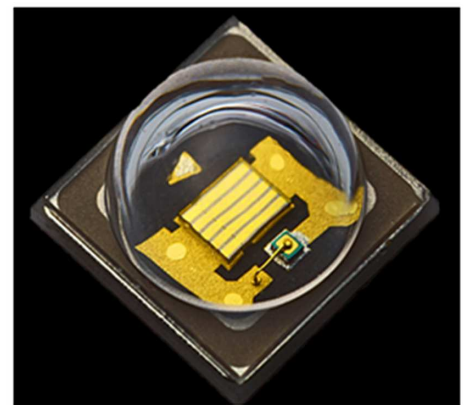
LED光源の開発では、日本のメーカーが圧倒的な優位にいる。従来、ウイルス・細菌の不活化効果はより高い紫外線254nmが主に使われていたが、人体に照射すると皮膚がんや白内障を発症させる恐れがあった。(写真参照)

### <製造開始>

ウイルス・細菌の不活化機能付き照明器具も、'20秋には製品化される。

### <用途>

ウイルス・細菌の不活化機能を持つ照明器具を開発し、公共・商業施設などへの提供を目指す。



265nm 深紫外線LED光源

## 2) 光触媒技術/東京工業大学等

### <新型コロナウイルスに対する有効性>

東京工業大学、奈良県医大等の研究グループは世界で初めて可視光応答形光触媒材料TiO<sub>2</sub>による新型コロナウイルスの不活化を確認した。光のない状況においても、高い抗ウイルス効果を持つと報告している。光照射(1000 lux)1時間で空气中に浮遊するウイルス量が99.7%の減少、2時間及び暗所においても4時間で検出限界以下の99.99%以上が減少した。

### <メカニズム>

光触媒であるTiO<sub>2</sub>に光があたると、表面で活性酸素と呼ばれる化学種の一種であるsuperoxide O<sub>2</sub><sup>-</sup>(↓下図)やOHラジカルなどの活性酸素を作り出し、その非常に強い酸化力によって新型コロナウイルスや菌も不活化、殺菌され分解される。

### <製造開始>

i 実用済、ii、iii、iv 開発済

### <用途>

- i コーティング剤スプレー: ドアのノブ・トイレの蓋・手摺・マスクに1度塗布
- ii 空気清浄機用フィルター: フィルターに光触媒コーティング剤をスプレー
- iii 酸化チタンを製膜したタイルを開発…トイレ・洗面化粧台・レストランの炊事場
- iv 除菌脱臭機: 正常かつ無臭な空気を供給



(渡部敏郎)

## 福島県浜通りの現状 はや、10年を迎える現地を訪ねる

JR常磐線が全線開通し夜ノ森駅(富岡町)、大野駅(大熊町)、双葉駅(双葉町)が9年ぶりに再開した昨年3月に大熊町を訪ね、大野駅の再開様子を大勢のマスコミに混じって視察以来、約7か月ぶりの10月に浜通りを訪ねた。

### 浜通りには福島第一原発

浜通りの双葉町と大熊町には福島第一原発がある。私は事故後、東電による財物賠償(家屋などの損害賠償)について、現職時(東京都職員)の用地買収などの知識を生かして勉強会や相談会などを行ってきた。以来、たびたび現地を訪問したり、木幡ますみさんの町会議員活動を手伝ってきた。昨年はコロナ禍もあり、2回目の訪問となった。

昨年10月26日にいわき市に一泊、大熊町の木幡町議らと10年目を迎える大熊町をはじめとした浜通りのこれらについて語り合い、翌27日にいわき市から檜葉町、大熊町、双葉町を訪ね、夜遅く東京に帰るというハードスケジュールだった。



「たらちね」の機器並び測定室      ここなら笑店街(しょうてんがい)

### いわき放射能市民測定室「たらちね」を訪問

最初にいわき市にある、いわき放射能市民測定室「たらちね」を訪問し、スタッフの鈴木さんから、「たらちね」の現状や課題についてお話を伺った。

「たらちね」は2013年から子どもたちを対象にした甲状腺の検診、食品・水・土壌の放射能測定などを行っている。まだまだ線量は高く、廃炉作業の見通しも立たず、子どもたちの健康不安が続くことから、今後の活動がより一層期待されている。

### 檜葉町の商業施設 「ここなら笑店街(しょうてんがい)」

檜葉町は震災時には8,011人の居住者がいた。昨年10月1日時点では、居住者数4,023人と居住者は約半数にまで戻っている(町民の帰還者のほか、新たな居住者をふくむ)。

商業施設「ここなら笑店街(しょうてんがい)」は2018年6月にオープン。スーパーやホームセンターなど9店舗が入り、なかなかの賑わいだった。

### 富岡町の居住者は約5%程度

富岡町の被災時の人口は15,960人だった。昨年10月1日現在の人口は791人。帰還者と新たな居住者を合わせても被災前の約5%に過ぎない。

避難指示がすべて解除された檜葉町とは違い、避難指示が残り、福島第一原発に近い富岡町の現状は非常に

厳しい。沿道には売り地の看板が目立つ。町には廃炉国際共同研究センター、文化交流センター「まなびの森」、ふたば医療センターなどの箱モノが建設されている。しかし、維持費はどうなるのか。心配はつきない。



富岡町の売地看板

夜の森駅前宅地  
避難指示は解除されていない

### 夜ノ森駅は再開したが

夜ノ森駅は大野駅、双葉駅と同様、無人駅である。被災前でも乗降客は400人弱だった駅である。現在どの程度乗客がいるのだろうか。駅前の宅地は避難指示区域のままである。

近くのリフレ富岡(温泉・プール・宿泊ができる一体型施設)は解体中で、規模を縮小し新たに建設する計画があるという。案内していただいた富岡町の高野匠美(たくみ)町議は大赤字になる可能性に心を痛めていた。

### 大野駅と双葉駅

大熊町の被災時の人口は11,505人であった。現在(昨年10月1日時点)の町内居住推計人口858人であり、被災時と比較して約7.5%程度となっている。

ただし、元の町民は269人程度と少なく(帰還率2.3%)、東電社員の社宅ができていないことなどから、東電社員や廃炉・除染作業員が600人近く居住していることになる。駅前の線量計は0,312  $\mu$  Sv/hを示していた。

双葉町は被災時の人口は7,140人であった。町はJR双葉駅東口の広場や東日本大震災・原子力災害伝承館と双葉町産業交流センターなどを新設した地区など、一部避難指示が解除されたが町民の帰還者はいない。



大野駅構内

双葉駅前広場

### 浜通りの未来は、見通し困難

今回の訪問で明らかになったのは、帰還者(居住者)の多い檜葉町(といっても被災前の半分であるが)と、帰還者(居住者)の少ない他町との違いである。ただし檜葉町といえども高齢化が深刻である。

総じて、福島県浜通りの未来は見通し困難だというのが率直な感想である。

(伊藤久雄)



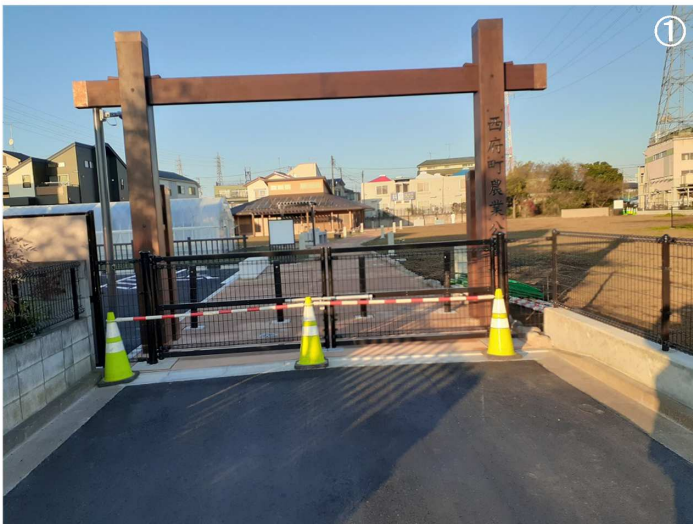
## 西府町農業公園整備工事完了、体験学習施設も完成

### 開園は2021年2月下旬に

府中市が整備をすすめてきた「西府町農業公園」の整備工事が完了した(写真は12月6日の撮影)。市は運営事業者を募集、締め切りは今年(12月)の11日、プレゼンテーション(最終審査)1月下旬という日程だ。それで2月下旬には開園という予定だが、準備期間が十分とはとても思えないという疑問があるが、とりえず外観を写真で公開するとともに、農業公園全体図と体験学習施設平面図をご覧いただきたい(図面はA3を縮小しているので分かりにくいにご容赦を)。

#### <施設の概要>

- ・敷地面積／3,567.29㎡
- ・畑用地／東側(図面下)1,738.2㎡ 西側(図面上、ビニールハウス設置)279.2㎡—合計2,017.4㎡  
東側畑用地に田んぼ予定地(小規模)がある
- ・芝生広場／体験学習施設の南側
- ・体験学習施設／集会場56.03㎡、管理事務室、厨房、耕運機・農機具等置場など述べ床面積155.26㎡
- ・その他／門扉(2か所)、自動車・自転車等置場、手洗い場(2か所)、井戸、かまど、ベンチ、パーゴラ(2か所)、災害用トイレなど



①



②



③

- ①入口(南側、門扉) 西府町農業公園の文字が右の柱にある
- ②門扉東側の畑用地
- ③正門すぐにある自動車・自転車置き場とあらかじめ設置されたビニールハウス

### 農業公園で何をやるのか

府中市が示している「西府町農業公園運営業務委託仕様書」によって業務内容をみると、おもに農業公園の園内の巡回、点検、維持管理と、農業体験イベントや農業体験講座等の企画、運営に関する業務の2つになる。私たちが課題としてきたのは後者の業務であるので、その業務の概略を以下に示す。

#### ◆農業体験イベントや農業体験講座等の企画、運営に関する業務

##### ①イベント・講座の内容

###### ○農業体験イベント

市民を対象にした単発の種まき、収穫等の農業体験イベントの実施

###### ○農業体験講座

市民を対象とした継続性のある農業体験講座の実施

###### ○施設の防災機能を活用した防災訓練イベント

地元地域の住民を参加対象とした防災訓練イベントを実施

##### ②委託内容

###### ○イベント・講座の企画立案

###### ○開催までの準備、開催時の運営全般

以上のような農業体験イベントや農業体験講座等の企画、運営は相当なボリュームになるが、加えてここでは示さなかった農業公園の園内の巡回、点検、維持管理、学習交流施設の維持管理がある。

年間委託料上限額9,092,000円(消費税、地方消費税を含む)でどのような事業者が応募し、選ばれるのか、1月下旬の最終審査を待ちたいと思う。(伊藤久雄)

前号(通巻78号)1面「西府町農業公園(仮称)整備工事と体験学習施設新築工事がすすむ」の記事中、「農業公園配置計画図」の年月は「2007年7月現在」ではなく、「2017年7月現在」が正しい表記です。訂正してお詫びします。



④

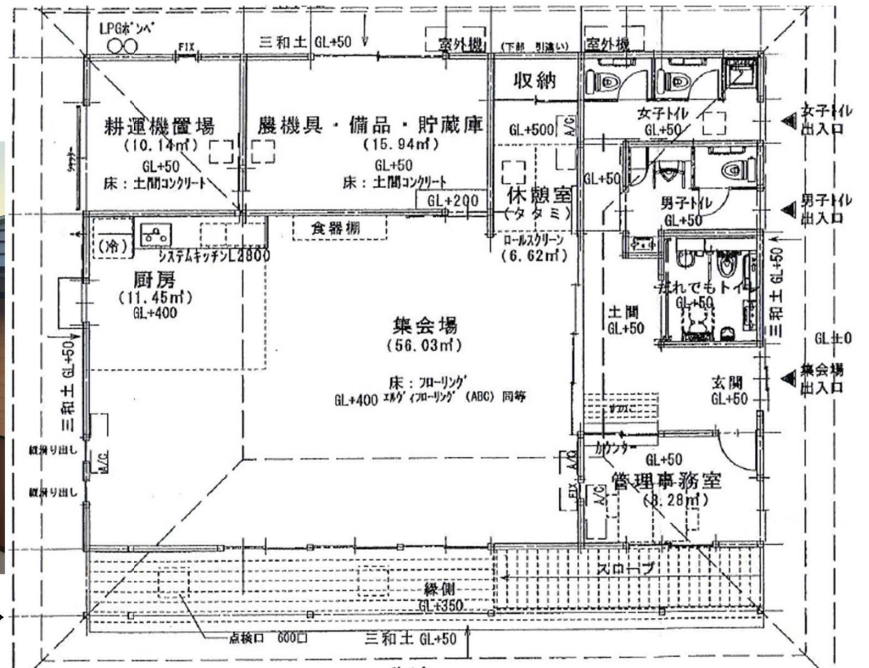


⑤

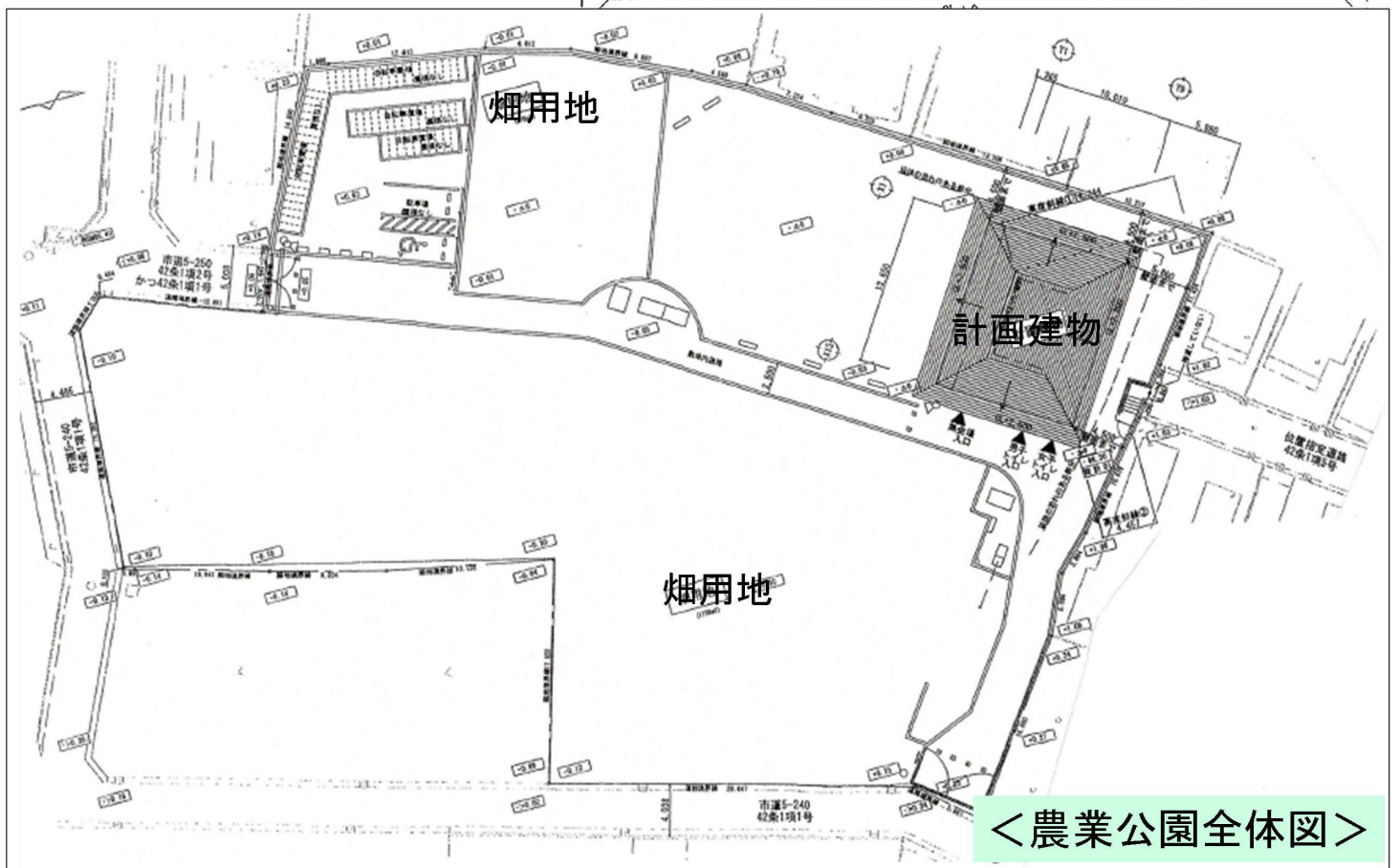
④体験学習施設東側の入口と手前の畑用地  
 ⑤体験学習施設南側は芝生広場  
 ⑥体験学習施設の東側に設置された井戸と洗い場



⑥



<体験学習施設平面図>



<農業公園全体図>

# 熊本地震における「キッチンカー全国災害支援ネットワーク」

## 迅速なボランティア活動と長期的な飲食店復興を目指して

### 1.キッチンカー全国災害支援ネットワークの概要

これまで本会報の連載を通じて、2011年から私自身が携わってきた、東日本大震災後の支援活動の一部についてご報告してきた。お伝えしたいことはたくさんあり、いわき短期大学では「地域防災計画学」を担当し、震災後10年を目前に今も変化し続けている大切な現状報告もある。今回は最終回として、東北での活動を通じて築いてきた「キッチンカー全国災害支援ネットワーク」を活かして、熊本地震直後から取り組んできた活動についてお伝えする。

本ネットワークは、東日本大震災後の広範な支援活動や被災飲食業者による再起業をきっかけに釜石、石巻、福岡、熊本で活躍してきたキッチンカー事業者との協働のもと、全くの偶然ではあるが、熊本地震直前の2016年3月に任意団体として立ち上がった。各事業者は「カキ料理」や出汁が特徴の「石巻焼そば」、熊本県オリジナルの「揚げピッツァ」など、地域の魅力を押し出すメニューを提供している。団体の目的は、今後、もし全国で災害が発生した場合にも、迅速なキッチンカーネットワークを発揮して相互に助け合うことであり、設立1ヶ月後に奇しくも熊本地震が発生し、本団体の全国ネットワークを迅速に機動することとなった。

材まで活かした「あたたかい」料理を提供できる。炊き出し禁止となった地区ですら、キッチンカーは保健所の審査も通過した営業許可車両として食料提供が可能な点から、一般的な炊き出しボランティアと異なった支援につながる。

もう一つの特徴は、飲食店舗が全壊した事業主であっても、①初期費用の少ないキッチンカーでの新たな業態による「新規起業」と②新店舗を開店するまで約2年間の「つなぎ起業」が、キッチンカーを活用した営業再開の選択肢となる。甚大な被害であった熊本地震においては、こちらの支援を長期の主目的に据えて活動した。



益城町被災事業者へキッチンカー説明

### 3.熊本地震の被災状況と活動の柱

2016年4月14日、15日に発生した熊本地震は、内陸部の直下型地震として甚大な被害をもたらした。特に「益城町(ましきまち)」は、震度7をこの2日間に2回も被ることとなり、現在の気象庁震度階級が制定されてから初めての前例なき災害だ。

私の故郷は隣県の鹿児島であり、弟家族がちょうど熊本市に転勤中であつたり、高校の先輩後輩が同県や益城町に多く生活していたことから、まさに「我が災害」として居ても立っても居られなかった。鹿児島に住む私の両親は14日の地震直後に弟家族の支援に訪れ、弟宅で震度6強を被災してしまつたが、幸いにして被害はなかった。

震災直後、速やかに全国のネットワークメンバー間で情報交換を行い、避難所開設や道路状況、行政・ボラセンの情報を整理した。さらに私個人の関係者へ徹底的に連絡して、益城町在住の歯科医師や行政関係者、マスコミ、避難所運営者から直接被災状況や支援ニーズを収集した。

その結果、震源地の熊本県益城町・西原村を中心として、行政・避難所・住民からの直接の要請に基づき、震災初期の「炊き出し・コミュニティ形成支援」と、長期的に不可欠となる「被災事業者がキッチンカーを活用した起業支援」の2つの柱に取り組むこととなった。



釜石・石巻・熊本キッチンカー事業者と益城町長(左から2人目)、役場・商工会職員

### 2.災害時に発揮するキッチンカーの実力

府中市内でも見かけることが多くなったキッチンカーであるが、災害時に発揮する実力を先に整理する。

まず、地震や津波直後で道路状況やライフラインが壊滅的でも、①身軽に移動でき、②電気が使え、③冷蔵庫を搭載し、④調理できる。この特徴は、夏場であっても食中毒の心配が不要で、安全・安心な炊き出しによる食料支援を可能とする。支援の枠組みから外れている遠方の自主避難所や在宅被災者には、食材・物資の運搬や安否確認を効率的に担え、調理できずに余っている生鮮食

#### 4.炊き出し・コミュニティ形成支援

震災直後は九州(熊本、長崎、福岡)のキッチンカーグループが熊本で緊急食糧支援に着手し、東北の被災・支援経験がある釜石・石巻グループが、企業や住民から提供頂いた多くの支援物資をキッチンカーへ積み込み4月19日に石巻を出発した。その道程、私はリアルタイムで現地の諸情報を収集し、キッチンカー支援メンバーへ絶えず情報共有し続け、21日に益城町へ到着した。

到着前まで、状況調査後の23日から炊き出し予定だったが、震災から1週間が経ち、ストレス、栄養バランスの偏りによる体調不良の声を多く聞いた。そこで早速21日から、同町の指定避難所である広安小学校で、地元の高校生・大学生ボランティアと炊き出しチームを結成し、キッチンカーを活用した石巻名物「石巻焼きそば」を中心に、1,000食近い炊き出しを展開した。

翌日は、熊本県唯一の情緒障害児短期治療施設「こどもL.E.C.センター」を訪問した。本センターは広域な避難所ではあるものの、生活している100名もの子供達は、支援者も含めて一般の方との接触を極力避けなければならない事情があることから、一手に責任者を担っている園長先生と丁寧な打合せと信頼関係を構築し、炊き出し支援につながった。夏季には夏祭りもなく、震災後のストレスも蓄積し始めているため、子供達の楽しみになる「自作かき氷」「デコレーション・チョコバナナ」を、笑顔で交流しながら提供する役割を担い続けられたことは、心から嬉しい。

その後も私含めて東北と熊本をキッチンカーで何度も往復し、数えきれない地元の方々との協働のもと、益城町・西原村で約20,000食の緊急食糧支援及びその後の炊き出しを展開してきた。特に支援が手薄な、私設避難所や建設中の仮設住宅、在宅被災者の多い集落を訪問。被災者自立を妨げない事へ配慮しつつ、キッチンカーによる安全・安心な食の提供を通じた「コミュニティの場の創出」と「心のケア」を目的として、東北・熊本の被災者間で交流型の炊き出しを実施してきた。



熊本×石巻キッチンカーの「コラボ炊き出し」

#### 5.被災事業者がキッチンカーを活用した起業支援

以上の支援とニーズ調査の積み重ねから、益城町の飲食店舗は壊滅的な状況であり、日常的な食事が提供できず、まちのにぎわいを取り戻すためにもいち早く飲食店舗の再開が不可欠なことを把握。さらに東北同様、営業

再開したい意思があるうちに起業しなければ意思は徐々に弱まり、廃業者が増え、これまでの顧客や販路すらも手放してしまう危機感から、当初から主目的としていた被災事業者支援に着手した。



益城町の若手キッチンカー起業者(中央)、情熱的な現場職員(右)筆者

これまで連携を図ってきた益城町役場、商工会と打合せし、一刻も早い産業復興を熱い心で目指す職員もいたことから協働し、6月に早速、家屋・店舗が全壊した10事業者へお声がけて説明・相談会を開催した。津波で家屋・店舗が全壊した状況から復興した、「かまいしキッチンカープロジェクト」の実例を説明した後、実際にキッチンカーで被災事業者による調理体験として、地元の皆さんへの炊き出しを実施した。実体験によって、住民からも喜ばれ事業者からキッチンカーで「新規起業」や「つなぎ起業」する営業再開の要望が上がり、釜石から持参したキッチンカーとルーメットを無償貸与した。

なかには、4月15日に新規開店予定だったダイニングバーと自宅の両方が全壊した若手事業者もおり、キッチンカーでの営業再開意志が強く、役場や商工会と連携して補助金も活用した再起業を支援することで、迅速な事業再開へとつなげることができた。その後、馬肉など県産食材を扱う「CAFE & BAR MONKEY」の実店舗を再開させて、2020年9月には新店舗もオープンし、キッチンカーの県内イベント出店と併用して大人気となっている。機会があればぜひ足を運んでほしい。

#### 6.結びに

地震や津波、台風、水害など日本は自然災害大国ではあるが、それぞれの経験をうまくつなぎ合わせることで同じ失敗を繰り返さないだけでなく、災害前よりも力強い復興につながる可能性を実感してきた。その前提は、各地で生き抜く人々の熱い思いがあつてこそであり、その思いに共感できる仲間をつなぐ役割も大切である。

自然災害がいつ起きるのか？ 完全に予測することはできない。ただ、災害前から各経験を共有し、有事に備えて専門的なネットワークを構築することは、将来に向けて大きな財産になるのではないだろうか。だが現実には、事前の体制づくりに対する時間的、金銭的なコストを後回しにする風潮は否めない。そんな時こそ、市民活動や各ステークホルダー間の協働が効果を発揮する。東日本大震災から10年の節目となる3月を目前に、今一度、過去の事例にも目を背けない意見交換や、地域内だけでなく広域連携にも期待したい。

(林 丈雄)

# 2020年度 掲示板取替え、清掃活動、巣箱管理等の西府崖線保全活動

今年度はコロナ禍のため、「府中かんきょう市民の会」の諸活動がほとんど中止となった。西府崖線保全活動も大きな影響を受けたが、いくつかの活動は実施できた。生態系調査(9/30)、ハケ掲示板取替え作業(10/27)、秋の清掃活動(11/7)、巣箱管理(12/6)、日新町市民花壇・西府町緑地花壇などである。

ここでは、(1)ハケ掲示板取替え作業(2)秋の清掃活動(3)巣箱管理等について報告する。ちなみに、コロナ禍のため全員がマスク着用、事前事後に手の消毒、打合せ時は「密」をさげ距離をとるなど、細心の注意をはらった。



⑤ 本宿町緑地で  
の巣箱取付け  
⑥ 巣箱のなかの



掲示板取り付け作業中の上野さん

(1)ハケ掲示板3ヶ所取替え作業が10月27日(火)、秋晴れのなか10:10~12:10に行われた。参加者は非会員の土野好輝さんと会員6人の計7人。長年の懸案事項であったが、非会員ながら西府崖線保全活動に度々参加されている元大工の上野さんの設計、製作、取付け等にわたる、全面的な協力のもとに無事完成した。



秋の清掃活動(府中用水)

(2)秋の清掃活動は11月7日(土)9:30~10:45に実施された。参加者は会員7人。作業はハケ上、ハケ下(あずまやから国立市側)の2班にわかれた。ゴミ量が多いときには10袋以上もあったが、今年は外出を控える方が多いとしても、たったの2袋である。ここ数年の印象としては、不法投棄も含めてゴミがかなり少なくなった。ブローケンウインドウ理論(割れ窓理論)が実証されているのではないだろうか。

これは直接的には環境犯罪学上の理論であるが、ゴミのポイ捨て、不法投棄などにも当てはまる。簡単に言えば、そこにゴミが沢山捨ててあると、ほかの人も捨てやすくなるという人間の心理に注目したもので、周りの環境が人の思考や行動に大きな影響を与えることを示す。

(3)巣箱管理は12月6日(日)14:00~16:10小春日和のなか実施された。会員5人の参加で、事前に「巣箱の取外し、再取付け」と「巣箱清掃、写真撮影」の2班に分かれた。今回は巣箱6個中、過去最多の4個に営巣確認。

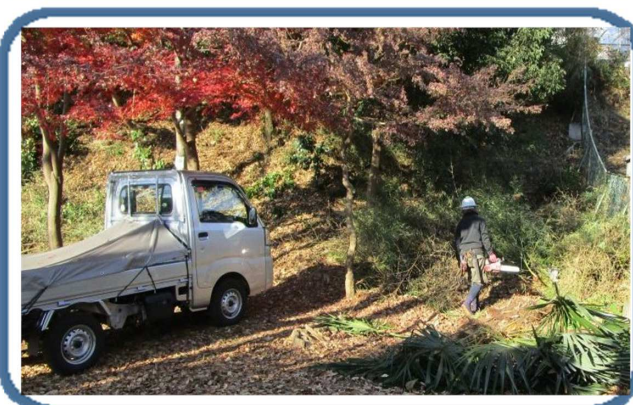
西府崖線生態系(昆虫類)調査結果

蜂の分類	R 2年・09・30(水)	小計	R元年・10・26(土)	小計	備考
① ヲウモン ② ミハツ ③ ヒメハツ ④ シロハツ ⑤ シロハツ ⑥ シロハツ ⑦ シロハツ ⑧ シロハツ ⑨ シロハツ ⑩ シロハツ ⑪ シロハツ ⑫ シロハツ	11種		① ヲウモン ② ミハツ ③ ヒメハツ ④ シロハツ ⑤ シロハツ ⑥ シロハツ ⑦ シロハツ ⑧ シロハツ ⑨ シロハツ ⑩ シロハツ ⑪ シロハツ ⑫ シロハツ	2種	
甲虫類	① テントウムシ ② ウリハムシ ③ ④	種	① テントウムシ(2つ星) ② ウリハムシ(害虫) ③ ④	2種	
ハチ類	① アシナガバチ ② ママバチ ③ ④ ⑤	2種	① アシナガバチ ② ③ ④ ⑤	1種	
アブ・ハエ類	① ② ③ ④ ⑤	種	① ミズアブの仲間 ② ③ ④ ⑤	1種	
セミ・カメムシ類	① アブ ② フナムシ ③ フナムシ ④ フナムシ ⑤ フナムシ	3種	① クサカバカゴロモ ② カネササカメ ③ アメノボウ ④ ⑤	4種	(幼虫)
バッタ類	① オナヅツチ ② バツツチ ③ バツツチ ④	3種	① アオマツムシ ② カネタタキ ③ コウロギ ④	3種	
トンボ類	① アキアカネ ② シオカラトンボ ③ ④	2種	① ② ③ ④	種	
カマキリ類	① オオカマキリ ② ③ ④	1種	① コカマキリ ② ③ ④	1種	
その他	① ジョロウグモ(非昆虫) ② クサグモ(非昆虫) ③ ④	種	① ジョロウグモ(非昆虫) ② クサグモ(非昆虫) ③ ④	種	
計	6類 22種	22種	7類 14種	14種	

西府崖線生態系調査(昆虫類)調査結果  
2020年9月30日と2019年10月26日分



日新町市民花壇(11月30日)  
スノーボール40株  
パンジー35株の花植え



(葛西利武)

★今年度も昨年度に続いて、ハケ保全のための伐採作業が12月21日から本宿町緑地で開始